

2014年10月2日（木）

第一三共ヘルスケア株式会社

低刺激洗浄料のロングセラーブランド 「ミノン」 洗浄シリーズ  
**大島優子さんを起用し、約10年ぶりにTV-CMを放映**

映画監督タナダユキさんが描く、やさしさ溢れるショートフィルム

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：西井良樹）は、低刺激洗浄料「ミノン」洗浄シリーズのイメージキャラクターに女優の大島優子さんを起用し、第1弾となるTV-CM「小包」篇を、本年10月3日（金）から全国で放映します。

肌の悩みを考えて開発された「ミノン」は、1973年の発売から40年以上にわたり、一貫した処方コンセプトを持ち、世代を超えて愛され続けているロングセラーブランドです。

「ミノン」洗浄シリーズは、本年8月にパッケージデザインを一新し、リニューアル発売しました。当社はこのたびのリニューアルを機にブランドメッセージ「肌とやさしさのあいだに。」を定め、TV-CMで「肌と大切な人を思う気持ちの間に介在し続けるブランドでありたい」という願いを伝えてまいります。



TV-CM「小包」篇より

## ■TV-CMについて

「小包」篇における大島優子さんの役どころは、徳島から上京して3年目を迎える、一人暮らしのOL・中島<sup>なかじま</sup>麻子<sup>あさこ</sup>です。「肌とやさしさのあいだに。」というブランドメッセージのもと、麻子とその家族や大切な人たちとの何気ない日常を切り取った心温まるストーリーを通じて、世代を超えて愛され続ける「ミノン」の魅力を表現しました。

母親から届いた荷物の中に、子どもの頃から家族みんなで使っていた「ミノン」を見つけて、湯船に浸かる麻子。「ミノン」で体を洗いながら、成長する娘を思う母親の優しさに包まれて自分は大切に育てられてきたんだ、と家族の深い愛情に思いを馳せる姿が、優しさに満ちた穏やかな世界観とともに描かれます。湯船に浸かりながら、徳島の方言で「もうカサカサせんように」とつぶやく様子や、荷物に入っている徳島名産のすだちなどの細やかな設定が、より自然で実在感のある情調を作り上げています。

なお、今回の続篇となる第2弾「帰省」篇を12月に、第3弾「彼の引っ越し」篇を来年3月に放映を予定しています。実家でのお母さんやおばあちゃんとのやり取りや、彼の部屋の引っ越しを手伝う様子などが描かれ、篇を重ねるごとに、「ミノン」を通じた麻子と家族の愛情、人とのつながりが深まっていきます。

## ■TV-CMストーリー／「小包」篇（30秒）

満員の通勤バスに揺られている麻子（大島さん）。ぼんやりと考え事をしている姿に、「カサカサしてた。肌も心も」というナレーションが入ります。「そんな時、お母さんから荷物が届いた」というナレーションに続き、帰宅後に届いた宅配便の段ボール箱を開けると、そこには地元の特産品など、実家から届いた愛情いっぱいの荷物が詰まっています。母親からの何気ないメモ書きが添えられ、荷物の一番上に当たり前のように「ミノン」が入っていました。

「ミノンは肌のバリア機能を守りながら洗います」「ミノンが目指す3つのこだわり」「洗いながらしっとりなめらかな肌へ」というナレーションをバックに、浴室で「ミノン」を泡立てて体を洗う麻子。湯船に浸かりながら、「もうカサカサせんように」とつぶやく姿に、「肌とやさしさのあいだに。」というキャッチコピーとナレーションが重なります。

## ■撮影エピソード

ファーストカットは通勤バスのシーン。大島さんが白のブラウスとアイボリーの袖なしジャケットに、白と青のストライプスカートを合わせた清潔感のあるスタイルで元気に登場すると、愛くるしい笑顔や柔らかい雰囲気と相まって、撮影現場が一気に華やぎました。

大島さんがエキストラや撮影スタッフで混み合うバスに乗り込むと、早速撮影を開始。スタジオ周辺の道路を1時間ほど周回し、何度もアングルなどを変えて、バスに揺られて通勤する大島さんのさまざまな表情を撮影しました。

撮影の合間、大島さんはすぐ目の前にいた小学生の男の子に「この中に何が入っているのかな？」と話しかけてランドセルを開けたり、「学校ではどの教科が好き？」と質問したりするなど、エキストラや撮影スタッフともすぐに打ち解けて仲良くなっていました。

お風呂のシーンでは、カメラの準備が整うまでの間、湯船に浸かってすっかりリラックスしていた大島さんは、休憩中は両手で作った水鉄砲でお湯を遠くまで飛ばして遊んだり、お湯の中に勢いよく潜って周囲を驚かせたり、童心に返ったかのように無邪気な一面を見せていました。

## ■大島優子さんインタビュー

---

### —「ミノン」のイメージキャラクターに選ばれた感想は？

私の「優子」という名前は本名で、優しい子に育ちますようにって付けられたので、優しいイメージがある「ミノン」のイメージキャラクターに選ばれて、すごく嬉しいです。

### —「ミノン」を使ってみた感想は？

「ミノン」は優しい使い心地で、香りもいいし、自然と優しい気持ちになれます。お風呂から上がるとしっとりした感じで、本当に心地よくなりますね。

### —最近、家族の優しさを感じたエピソードは？

一人暮らしだと家庭の手料理を食べる機会が少ないので、母と会う時はいつもフルコースを作ってくれるんです。前菜からメイン、それにデザートまでちゃんと用意してくれて。家族の温もりを感じるひとときです。

### —疲れた時のリラックス法は？

お風呂が大好きなので、毎日必ず湯船で半身浴をしてリフレッシュしています。体を洗って、頭も洗って、心を全部リフレッシュ！それが私の一番のリラックス法です。

### —最後にメッセージをお願いします。

今回のTV-CMは物語になっていて、映画を見ているような気持ちになると思います。中でも、家族を思い出すきっかけとして「ミノン」が登場して、家族を感じたり、思い出したりするシーンが一番のお気に入りです。ぜひ、この機会に「ミノン」が皆さんの日々の生活の中でも登場して、人生の思い出のひとつになったら嬉しいです！

## ■「小包」篇 (30秒) ストーリーボード

- |                                                                                       |                                                                                         |                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 1    | 8     | NA「ミノンは」                   |
| 2    | 9     | NA<br>「肌のバリア機能を守りながら洗います。」 |
| 3    | 10    | NA<br>「ミノンが目指す3つのこだわり。」    |
| 4   | 11   | NA<br>「洗いながらしっとりなめらかな肌へ。」  |
| 5  | 12  | 麻子<br>「もうカサカサせんように。」       |
| 6  | 13  | NA<br>「肌とやさしさのあいだに。ミノン。」   |
| 7  |                                                                                         |                            |

(NA : ナレーション)

「小包」篇 60秒バージョン・メイキング映像は、ミノンブランドサイト ([www.minon-amino.jp](http://www.minon-amino.jp)) でご覧になれます。

## ■プロフィール

---

### 大島優子 (おおしま ゆうこ)



1988年10月17日生まれ、栃木県出身。現在は女優として活動中。出演作品として、映画『紙の月』(2014年11月15日公開予定)、『劇場版 SPEC～結～漸ノ篇／交ノ篇』、『闇金ウシジマくん』、ドラマ『安堂ロイド～AI knows LOVE?～』(TBS)などがある。また、バラエティー番組『ウーマン・オン・ザ・プラネット』(NTV)にMCとして出演するなど、幅広く活躍している。

### タナダユキ



1975年8月12日生まれ。福岡県出身。初監督作『モル』でPFFアワード2001グランプリとブリリアント賞の2冠受賞。『百万円と苦虫女』(2008)でウディネフェアーイースト映画祭MY Movie Audience Award、日本映画監督協会新人賞受賞。近作に映画『ふがいない僕は空を見た』(2012)、『四十九日のレシピ』(2013)、小説『復讐』(2013)等。

## ■TV-CM 概要

---

タイトル： 「小包」篇  
出演： 大島優子  
放映開始日： 2014年10月3日(金)  
放送地域： 全国

## ■制作スタッフ

---

クリエイティブディレクター： 岡村めぐみ  
プランナー&コピーライター： 木下さとみ、川崎紗奈  
アートディレクター： 工藤真穂  
クリエイティブプロデューサー： 仁禮義智  
プロデューサー： 蓮尾淳子、横山治己  
キャスティング： 藤島誠二、斎藤祥子  
プロダクションマネージャー： 橘川大地  
CM監督・演出： タナダユキ  
カメラマン： 大塚亮  
照明： 木村匡博  
美術： 小泉博康  
スタイリスト： 宮本茉莉  
ヘアメイク： 岩本みちる  
音楽： 濱野睦美